

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管  
一般医療機器 排液バッグ JMDN コード: 70308000

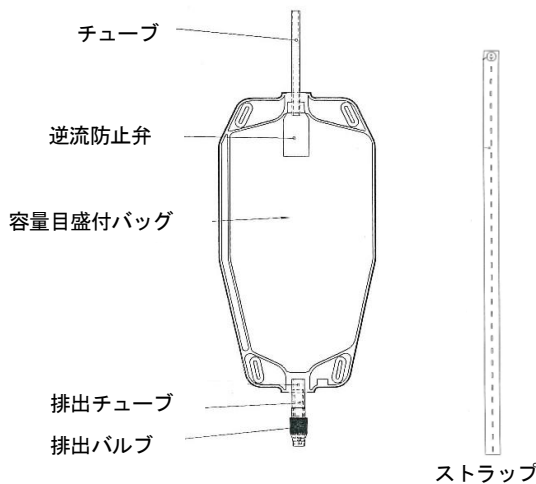
## ドレナージバッグ

## 再使用禁止

**【禁忌・禁止】**  
再使用禁止

## 【形状・構造及び原理等】

本品は、ドレインチューブに接続し、体外に排出された分泌物を除去するために用いる。容量目盛付、及び逆流防止弁付きの排液バッグである。ストラップを使用し吊り下げて固定することが可能である。



材質: 本体/ポリ塩化ビニル (可塑剤: DINP/DEHP)  
ストラップ/PET 弾性繊維  
滅菌: EOG 滅菌

| 品番    | 品名       | バッグ容量 |
|-------|----------|-------|
| PD600 | ドレナージバッグ | 600ml |

## 【使用目的又は効果】

本品は、ドレインチューブに接続し、体外に排出された分泌物を除去するために用いる排液バッグである。

## 【使用方法等】

## 1. 使用方法

- 1) 本品に異常がないことを確認する。
- 2) 本品を汚染に十分注意しながら包装内より取り出す。
- 3) ドレインチューブ等を本品のチューブに確実に接続する。
- 4) 排出バルブを右に回して閉まっていることを確認する。
- 5) ストラップを使用し、本品を患者より低い位置になるように設置し、排液を貯留させる。
- 6) 排出バルブを左に回して排液する。
- 7) 使用後は、ドレインチューブ等から取り外す。
- 8) 終了後、感染・汚染に注意しながら、本品を安全に廃棄する。

## 2. 使用方法に関連する使用上の注意

- 1) 使用に際して無菌的に取り扱い、すべての操作は汚染防止に十分な配慮をしたうえで行うこと。
- 2) 使用中は縦に吊るしたままの状態を保ち、傾けたり激しく動かしたりしないこと。
- 3) 使用中は接続部のゆるみ、液漏れ、詰まり及び破損等がないことを定期的に確認すること。
- 4) チューブ等に排液が貯留していないか定期的に確認すること。
- 5) 排液を排出するとき以外は、排出口を閉めておくこと。

## 【使用上の注意】

## 1. 重要な基本的注意

- 1) 使用前に排出バルブが閉まっていることを確認すること。
- 2) 本品を患部より高い位置で使用しないこと  
〔排液が逆流する可能性がある。〕
- 3) 定格容量を超えて使用しないこと  
〔接続部から漏れを引き起こす可能性がある。〕
- 4) 接続部からの液漏れ等の異常が認められた場合は使用を直ちに中止すること。
- 5) 外部から衝撃、過剰な力を加えないこと  
〔漏れの原因となる可能性がある。〕

## 2. その他の注意

- 1) 使用前に、汚れ、破損、変形等を点検すること。
- 2) 本品の目盛は目安のため、正確に計量する場合は他の容器に移し替えること。
- 3) 開封後は直ちに使用すること。

## ＜不具合・有害事象＞

- 1) 不具合  
漏れ、破損
- 2) 有害事象  
逆行性感染

## 【保管方法及び有効期間等】

## ＜保管方法＞

- ・水ぬれに注意し、高温、多湿、直射日光のあたる場所をさけて室温で保管すること。

## ＜使用期間＞

- ・製品の外箱の使用期限欄を参照すること

## 【主要文献及び文献請求先】

株式会社フジメディカル  
TEL: 03-3356-8377

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

## 製造販売業者:

株式会社フジメディカル  
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-1 細井ビル 5F  
TEL: 03-3356-8377

## 外国製造業者:

パシフィックホスピタルサプライ社  
Pacific Hospital Supply Co., LTD.  
台湾

